

本プログラムの導入

授業時間 50分授業 × 2コマ (※連続コマが望ましい)

50分 高校卒業後の人生（ライフイベント）を具体的にイメージする

50分 自立した大人になるために、高校生の中に身に付けておきたい力（習慣）にはどのようなものがあるか、をグループワークを取り入れながら見つける

人数

1クラス40名程度を最大人数とする
生徒自身が主体的に参加することにより効果を得られる仕様となっているため、クラスごとの実施が理想

内容

高校卒業後「進学する生徒」が多いクラス向けのプログラムと、「就職する」生徒が多いクラス向けのプログラムを準備

講師

本プログラムを限られた時間の中で浸透させるためにも、通常授業とは異なる緊張感を高める外部講師の起用が理想である。

本プログラムは家庭科の授業の一環として扱える内容になっているので、家庭科を担当されている先生が講師となることも可能。

本プログラムの指導案を準備しているので、進路指導の一環として担任が講師となることも可能。



本プログラムの到達目標

1. 未来を予測する

高校卒業後の人生（ライフイベント）を、「自分事」として具体的にイメージする機会とする

2. 未来に備える

よりよく生きるためには、将来「なりたい姿」を具体的にイメージし、「どうすれば実現できるか」「いま何をすべきか」を考える習慣が必要であることを学ぶ

3. 自分を幸せにする

自分らしく生きるための第一歩として、「自分は何が好きなのか」を思い返す機会を設け、人生を歩む上で「自分を大切にすること」がとても重要であることを学ぶ



独自のパワーポイント教材をご用意。
生徒の興味を逃すことなく学びのポイントを伝えることができます。

更に、グループワークで学びを即実践に直結。
多様な意見を交える中で自身と他者の気づきを得られます。

授業を受けた高校生の声

「高校一年生だからまだ将来考えなくてもいい!!」「まだ大学を考えなくても大丈夫」と考えていたが、この授業を受けて自分の将来をしっかりと考えられる機会になった。

目標は決まっているけれど、今なにもしていない、何をしたら良いかわからない!という状態は危ないということがわかった。

自立して暮らすことが、あと数年後にあることを実感した。

漠然と目標を決めて努力するのではなく、そこまでの手段をしかるふむことの大切さがよくわかった。いろんな班の意見を聴くことで、自分の中にはなかった考え方を知ることができた。

今まで「将来こうなりたい!」と思っても、それになるために今何ができるのかを考えたことがなく、それを考えるのが大切なのだを知ることができた。これから将来のことをじっくり、しっかりと考えていきたい。

自分になりたい職業はまだ決まらなくて、学力のことも考えると、将来のことがとても不安だった。でも、自分の好きなことを活かせる職業は1つだけじゃなく何通りもあることに気づき、とても自信がついた。先に迫った未来のことを、積極的にもっと考えていきたい。

自分のライフスタイルは、まだ想像つかないけれど、考えてみることは未来が広がるようで楽しかった。

ポジティブ!!とにかく楽しく生きるのが大切だと分かった。生きていく上での楽しみ方、相手の苦手な所だけではなく、いい所を一つでも見つけることが大事だということ学んだ。

アンケート集計

Q 本授業は、自分の将来について考える機会になりましたか

